



高齢者と猫にまつわる問題

長らくペット No.1 を誇っていた犬を上回って猫ブームが到来してきました。農業国であった日本の歴史の中で鼠退治の重要な役割を担ってきた猫が、今はペットとして、人々を癒す存在になりました。犬のようにベタベタした愛想を振りまくこともなく、自由に振舞う猫の気位の高さに惹かれるのかも知れません。

猫を飼う人々が増えてきたことは、とても嬉しい現象ですが、ただ、可愛いと云うだけで、安易に猫を飼ってしまうのは心配です。特に、高齢者が面倒を見きれなくなった猫の深刻な問題が増えてきています。

TV などのメディア報道で、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、東京都練馬区の一戸建ての家に住む一人暮らしの男性が急に入院することになり、暫くして親戚の人に、家に残してきた飼猫の様子を見て欲しいと依頼しました。なんと、その家には50匹もの猫達が閉じ込められており、部屋中、ボロボロ、悪臭もすごい様子。TV に映し出される猫達は、特に人をこわがる様子はなく、あっちからも、こっちからも、ぞろぞろ出てきました。

幸い地元の NPO 法人の助けを得て、なんとか救うことができました。痩せ細って、病院に入れた猫もいたようです。家の外観は小きれいで少しもおかしい様子がなく、近所の人達も猫のことは気が付かなかったとのことでした。

また、神奈川捨猫防止会に、去勢手術をしていない元気な猫を飼う80過ぎの女性から、すり足で歩いていたら猫に突進されてきて、足首を怪我してしまった。なんとか猫を去勢させたいのだが、捕まえることも、病院に連れて行くこともできないので力を貸していただきたいとの切実な相談がありました。

近所の動物病院や行政窓口から、当会を紹介されたとのことでした。

幸い、わりと近くに住む、会員にお願いし、その方のお世話で、ペット・タクシーと契約している動物病院で手術をすることができました。スムーズにことが運び、一週間後に無事、去勢手術が済んだと連絡がありました。

この二件の例は、なんとか解決しましたが、急速に高齢化が進んでいる社会で、ペットのことも含めて、相談できるご近所の人達とのお付き合い、行政窓口への相談など、普段から心掛けておくことが大事だと考えます。

「町会長のための野良猫講座」

「町会長のための野良猫講座」の冊子を発行して1年になります。

お蔭様で多方面より好評を得て、追加注文を頂いております。

「項目が分かれています文字が大きい」「イラストが面白い」「縦書きなので読みやすい」「猫に詳しくない人にも奨められる」等々のお声を頂いております。

会員の皆様や獣医師の方々からも、複数冊のご注文を頂きました。47都道府県の動物行政担当窓口からもお問合せがありました。

まだ在庫がありますので、ご希望の方は1部に付き50円と下記、送料を添えてお申込み下さい。

送料 1部：120円 3部：180円

10部：300円 20部：360円

これ以上は宅急便着払い



動物の救急病院・夜間診療病院

ここ数年来、各地に夜間救急動物医療センターが設けられて来ています。夜間や、かかりつけ病院が休日の時のために、情報を用意しておくことをおすすめします。ネット検索か先生にお聞きしておくとも良いでしょう。

①必ず電話をしてから行動する ②いつもの診察券を持参 ③結果はかかりつけ病院へ申し送りして頂ける ④一般に診療時間は夜9時～朝6時 ⑤支払いはカード扱い
転ばぬ先の杖としてお知らせします。

みんなで連携～捕獲大作戦

県内のある広大な敷地所有者の奥様が、増え続ける猫とその鳴き声や糞尿の被害に悩み育たず死んでいく子猫に心を痛めていると聞いたのは12月のことでした。詳しく聞いたところ、最初に飼い犬のかかりつけ病院に相談し、地元の福祉保健センターを紹介され、そこから神奈川捨猫防止会に辿り着いたとのことでした。行政からの不妊手術の助成金制度の説明も初めて知ったそうです。3月迄に3回捕獲を実施し、計14匹の不妊去勢手術が済みました。自治会長にも相談して回覧板や掲示板で予告していたこともあり捕獲が一段落した今近隣の方々から感謝の声が上がっているそうです。また身勝手な餌やりをしている人たちにも警鐘を鳴らすことができました。今後は町内会の行事の度に募金箱を設置するなどして金銭的な意味も含めTNRに対する更なる理解を深めていってほしいと願っています。まだ手術の済んでいない猫もいますので引き続き見守っていくつもりです。

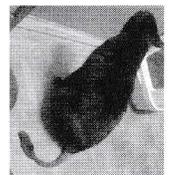
今回は動物病院、行政、防止会の連携でうまくTNRが進んだケースです。捕獲に駆けつけた会員一同、皆安堵しています。

(横浜市 小林尚子)

しっぽの毛刈り

色柄、しっぽの長さが同じような猫がたくさんいる場所で捕獲をする時、手術済みの目印として耳カットはもちろんですが、同時に当座の目印としてしっぽの毛刈りもしておくともわかりやすいです。先端の毛を残してライオンのしっぽのように刈ります。逃げ回る猫の耳を確認するのは大変ですが、しっぽだとすぐ分かります。2～3ヶ月は有効です。

(横浜市 間部祐子)



25メートルの決死のジャンプ成功!

1月1日の夕刻。外猫に餌を与えて帰宅しようとしたところ東名高速道路の入り口ランプの下、「ニャーニャー」鳴く声が聞こえ辺りを探したところ、なんと25m上、橋脚の上に黒猫を発見。この10日前にも同じ橋脚の上にいる黒猫を発見し、すぐに消防署に連絡して現地に来てもらったが、それ以降顔を出さなかったのもうどこかに行ったものと思っていた。

早速、再度消防署に連絡し現地に来てもらいましたが、ハシゴでは届かず、中日本高速道路管理の橋脚の上なので、消防署員は手が出せず、署員の方から、中日本高速道路の方に連絡を入れて頂き、連絡待ちとなりました。

一旦帰宅し、7時過ぎに電話をもらい捕獲器を用意して、東名高速道路の入り口で土木担当の方に事情を説明して、まずは現場へ急行。道路管理の方が先に現場に行って安全確保のために走行車線を規制してもらいました。

現場に着くと、確かに丸いコンクリートの直径3m位の橋脚の上に黒猫がいて、早速捕獲器をロープで吊るしてセットするも、全く近づかず。長くは車線規制を続けられないので、とりあえず捕獲器をしっかり固定し、ま

わりにも餌をまいて帰宅。中日本高速道路の土木担当の方に時々見てもらって、捕獲器に入ったら連絡をもらうことに。

翌朝7時、土木の方が家に来て、捕獲器の餌はなくなっていたが、仕掛けが落ちず、黒猫が飛び降りたらしい、との説明。話を聞いてみると、夜5回現場に行き黒猫を確認していたが、6回目に行った時は橋脚の上にはおらず、ライトで下を照らすと目が光ったので、黒猫は飛び降りたが、下にクッションとなる枯れ木や草があったので助かったのではないかと。にわかには信じがたく、現場に急行しましたが、確かに橋脚の上にはもう黒猫はいませんでした。

その後、付近を捜しましたが、発見できず。しかし、1月3日の夕刻、近くの側溝の中から鳴き声が聞こえ、よく見ると例の黒猫で、右足を折ったのか引きずりながら出てきて餌を食べました。それ以降、毎日のように餌を食べて元気になり、今では足も治って普通に歩いています。それにしても本当に無事で良かったです。

消防署員をはじめ、関係者の方々には感謝しています。(横浜市 清水香世子)



<事業報告> H27年1月～12月

- 4月 防止会ニュース No. 37 発行
「町内会長のための野良猫講座」冊子
発行
- 9月～11月 秋の動物愛護週間に合わせて各
地で開催された動物愛護イベントに参
加（川崎、横浜3件、秦野）
- 12月 会報 No. 60 発行
この他、各地域での TNR 活動に、会
員は積極的に活動してきました。

- <電話相談> 176件
相談 60件
連絡 47件
不妊去勢手術希望 29件
問い合わせ 25件
冊子注文 15件

平成28年度役員

ご高齢になられた太田会長をサポートするた
め、昨年度から有志による支援体制を KSB 役
員会として立ち上げ、役員会を開催し、数々の
事案を検討してきました。

役員一同、会長をサポートして KSB の活動
を推進していく所存です。会員の皆様のご協力・
ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

- 会 長 太田成江
副 会 長 松尾和子
会 計 芝崎宏美 松村由美子
広 報 清水香世子 吉田眞規子
監 査 間部祐子
業務推進 小林尚子 長澤恵子



捨猫防止会ホームページ
<http://www.sutenekoboushikai.com>

会計報告 (H27年1月～12月)

収 入		支 出	
会費	440,250	補助	510,580
寄付	635,207	事業費	1,112,519
保証金	30,000	保証金返却	20,000
雑収入	174,549	通信費	143,662
		印刷費	13,125
		事務用品費	18,950
		雑費	14,467
小計	1,280,006	小計	1,833,303
前期繰越	2,093,150	次期繰越	1,539,853
合計	3,373,156	合計	3,373,156

<補助金申請の件>

発行済みのお手持ちの補助金ハガキは、今年
中（H28年12月末日迄）にご利用下さい。
（予算には限りがあります）

補助金申請書の送付先は、下記宛にお願いし
ます。

<事務局住所の変更>

事務局の住所を下記に変更します。

〒226-0027

横浜市緑区長津田7-16-10

コーポエルム201号室 太田方

TEL/FAX 045-982-8575

